

製品安全データシート

米土つくり

整理番号 nichidensangyou-2

制 定 2016年06月08日
第 回改正 年 月 日

1. 製品及び会社情報

製品名 : 米土つくり

(肥料名称) くみあい粒状ほう素マンガん苦土けい酸入り、PK化成1号

登録番号 : 生第81464号

会社名 全国農業協同組合連合会

担当部署 肥料農薬部

住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F

電話番号 03-6271-8285

Fax番号 03-5218-2536

電子メールアドレス zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp

緊急連絡電話番号 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

健康有害性:

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2 (酸化鉄)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1 (酸化鉄)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性) (酸化鉄)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (呼吸器系) (酸化鉄)

※記載がない危険有害性クラスは分類対象外、区分外又は分類できない。

GHSラベル要素:



絵表示又はシンボル

注意喚起語:

危険

危険有害性情報：

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

呼吸器への刺激のおそれ（気道刺激性）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系）

注意書き：

[安全対策]

- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・取扱い後よく手を洗うこと。
- ・粉じん、ミストを吸入しないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

[応急措置]

- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

[保管]

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・内容物、容器を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 化成肥料

化学特性（化学式） : ケイ酸カルシウム (CaSiO_3) を主体とする複合酸化物に
熔成りん肥とケイ酸カリウム (K_2SiO_3) と赤鉄鉱 (Fe_2O_3) を
添加したもの。
 MnO (塩基性酸化マンガン)、 MgO 、 P_2O_5 、 K_2O は、 SiO_2 と
共にケイ酸塩鉱物を形成。

濃度又は濃度範囲 :

化学組成

(%)	(SiO_2)	(アルカリ分)	P_2O_5	K_2O	MgO	MnO	B_2O_3	(Fe_2O_3)
保証成分値	(24.0)	(28.0)	5.0	5.0	6.0	1.50	0.10	(22.0)

() は含有成分及び含有量

官報公示整理番号 :

化学名	化学式	官報公示 整理番号	化審法分類	CAS No.	備考

ケイ酸カルシウム	CaSiO ₃	1-194	既存	1344-95-2	複合酸化物
ケイ酸カリウム	K ₂ SiO ₃	1-459	既存	1314-76-1	複合酸化物
酸化マンガン	MnO	1-475	既存	1344-43-0	塩基性酸化マンガン
赤鉄鉱(酸化鉄)	Fe ₂ O ₃	1-357	既存	1309-37-1	

4. 応急措置

- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・直ちに医師に連絡すること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：

- ・この製品は不燃性。周辺の火災時には、適切な消火剤を使用する。

特有の消火方法：

- ・化学的に安定、不燃性。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。

環境に対する注意事項：

- ・大量に流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。
- ・残留分を多量の水で洗い流す。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い：

技術的対策：

- ・眼および皮膚への接触を避ける。局所排気装置を使用すること。
- ・容器は丁寧に扱う。使用後は容器を密閉する。
- ・取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- ・指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいけない。
- ・取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項：

- ・皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管：

安全な保管条件：

- ・換気のよい場所に保管し、ふた付きの容器に貯蔵する。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

設備対策：

- ・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度：

- ・作業環境評価基準（平成26年9月29日厚生労働省告示第377号）別表
土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん
（遊離けい酸含有率をゼロとして） 3.0 mg/m^3
（本品含有のマンガンは塩基性酸化マンガんに該当するため、作業環境評価基準から除外される）

許容濃度：

- ・日本産業衛生学会許容濃度等の勧告（2015年）
マンガン及びマンガン化合物(Mnとして) 0.2 mg/m^3
第2種粉じん 吸入性粉じん 1 mg/m^3
総粉じん 4 mg/m^3
- ・ACGIH 米国産業衛生専門家会議（2013年）
TLV-TWA 0.2 mg/m^3 (Mnとして)
TLV-TWA 5 mg/m^3 (Feとして)
TLV-TWA 10 mg/m^3 (ケイ酸カルシウム)
注) TLV-TWA：ACGIH の勧告制限値である制限閾値
TWA：時間加重平均暴露濃度

保護具：

- ・呼吸器の保護具： 防じんマスク（国家検定品）
- ・手の保護具： 保護手袋（ゴム製等）
- ・眼の保護具： 保護眼鏡（ゴーグル型、サイドシールド型）
- ・皮膚及び身体の保護具： 保護服（長袖）

9. 物理的および化学的性質

外観	： 茶褐色の粒状
臭い	： なし
pH	： データなし
融点	： $1,200\sim 1,350^\circ\text{C}$
沸点	： データなし
引火点	： データなし
自然発火温度	： データなし
爆発範囲	： データなし
蒸気圧	： データなし
蒸気密度	： データなし
比重（密度）	： データなし
溶解度	： 水に難溶、塩酸に可溶

オクタノール/水分配係数 : データなし
分解温度 : データなし

10. 安定性および反応性

安定性 : 通常条件で安定
反応性 : なし
避けるべき条件 : データなし
混触危険物質 : データなし
危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

皮膚腐食性/刺激性 (酸化鉄)

ヒトで発赤が生じ、**moderate**な刺激性がある(ICSC(J)(2004)、IUCLID(2000))との記載に基づき、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 (酸化鉄)

ヒトで**corrosive**(IUCLID(2000))との記載に基づき、区分1とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (酸化鉄)

ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの記載(ICSC(J)(2004)、IUCLID(2000))に基づき、区分3 (気道刺激性)とした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) (酸化鉄)

ヒトで胸部X線所見に異常を生じるが、臨床的に問題はないとの記載(ACGIH(2001))、および肺に蓄積すると鉄症になるが、良性のものであり線維症に進展しないとの記載(ACGIH(2001))がある。また、ばく露により金属熱にかかることがあるとの記載(IUCLID(2000))がある。良性ではあるが肺への影響が見られたこと、および金属熱にかかる可能性があることから、区分1 (呼吸器系)とした。

※ MnOに関して、GHS判定基準による危険有害性分類データなし

※ P₂O₅及びK₂Oは、SiO₂と共にケイ酸塩鉱物を形成するためGHS判定基準による危険有害性分類データなし

12. 環境影響情報

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める処理基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 該当なし。

国内規制 : 特段の規制なし。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 :

運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

肥料取締法：登録肥料

労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物

政令番号第193号 酸化鉄、

政令番号第551号 マンガン及びその無機化合物

(法第57条の2、施行令第18の2別表第9)

特定化学物質障害予防規則 第2類物質に非該当(塩基性酸化マンガン除外)

作業環境測定基準 作業環境評価基準に非該当(塩基性酸化マンガン除外)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR) (平成21年10月1日改正PRTR法施工後)：

種 別：第1種指定化学物質

政令番号：第412号 (改正前PRTR法：第1種、第311号)

政令名称：マンガン及びその化合物

大気汚染防止法：有害大気汚染物質／優先取組(中環審第9次答申の225)

マンガン及びその化合物

水質汚濁防止法：指定物質(施行令第三条の三) 鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物

生活環境項目(施行令第三条)

「りん含有量」

〔排水基準〕16mg/L 以下(日間平均 8mg/L 以下)

16. その他の情報

(引用文献)

- 1) ezCRIC化学品かんたん法規制チェック、日本ケミカルデータベース(株) (2008)
- 2) 15107の化学商品 化学工業日報社
- 3) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) 製品評価技術基盤機構(NITE) HP
- 4) GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会 安全情報センター HP

記載内容の問い合わせ先

- ・問い合わせ先：新日本電工株式会社 生産部 環境安全課
- ・電話番号：03-6860-6807
- ・FAX番号：03-6860-6836

◆お願い◆

米土つくりを安全にご使用頂くため、この製品安全データシートを作成しました。ご使用にあたって必要で、注意すべき事項を、できるだけ抜け落ちのない様にまとめました。しかし、全てを網羅することは困難で、化学技術の進歩及び法令の改正等によって、内容を変更しなければならぬ事態も発生します。

特定の技術情報等を詳しく必要とされる時には、製造者情報に記載した担当者にご相談

ください。

本データシートは、日本工業規格(JIS) Z7253:2012 に準じて作成されており、用語の定義はJISに従っています。

本 SDS は、下記新日本電工株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名 : 新日本電工株式会社
住所 : 〒103-8282 東京都中央区八重洲1丁目4番16号
担当部門 : 生産部 環境安全課
電話番号 : 03-6860-6807
FAX番号 : 03-6860-6836
